

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		下関市こども発達センター豊浦		公表日		8年 2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		グループの人数、活動内容等によって環境設定をし落ち着いて過ごせる空間を提供しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		配置基準に対する人員配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		部屋を構造化することで生活しやすい環境を心掛けています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		生活空間を清潔に保ち、気持ちよく過ごせる環境設定を心掛けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて、パーティション等で仕切られた空間を使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		可能な限り多くの職員が参画できるように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表の保護者の意見を参考に業務改善につ努めてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティング等で職員の意見等を把握する機会を持ち業務改善に努めてまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1 未記入2		第三者による外部評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内の研修やオンラインの研修などに積極的に参加し、資質向上に努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに支援プログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		個々にアセスメントを行い、保護者や利用児のニーズを確認して個別支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行うように心がけています。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	児童発達支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を行うように心がけています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	未記入1	適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたアセスメントを使用したり、日々の行動観察なども含め確認しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童発達支援計画はガイドラインに基づき支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3 未記入1		活動プログラムの立案を主にリーダーが立てて、協力して行っているが、チームの全体の意見も聞きながら行っていくように努めたいと思います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動プログラムが固定化しないよう、造形、運動、認知発達面、楽器あそびなど、さまざまな種類や内容を考え工夫しています。		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		下関市こども発達センター豊浦		公表日		8年 2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	未記入1	こどもの発達状況などに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し支援しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	4	職員の勤務形態が違うので、全員でのその日の打ち合わせが難しいが、事前に確認するなど可能な範囲でおこなっています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1 未記入1	職員の勤務形態が違うので、全員でのその日の振り返りが難しいが、ミーティングのときに確認したり、気づいたことを伝え、共有するようにしています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎回日々の活動の記録をとり、その後の支援の検証・改善につなげています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に積極的に参画するように心掛けています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		地域の関係機関など、普段から連携をとりやすい関係づくりをしています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保育所や認定こども園、幼稚園等に対して積極的に支援を行い、情報共有するように心がけています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	未記入2	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有を図るように心がけています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1 未記入3	同法人の児童発達支援センターと連携し、定期的に研修を受けたり、スーパーバイズを受ける機会を設けています。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	地域のこども園などに通っているこどもさんが多いため、事業所としては、活動する機会は持っていませんが、連携はしています。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		定期的な面談や送迎時などに保護者とコミュニケーションを積極的にとり、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持つように心がけています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の情報提供等は行っています。			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時に丁寧に説明を行っています。			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	下関市こども発達センター豊浦		公表日	8年 2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		児童発達支援計画を作成する際には必ず面談を行い、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的や必要に応じて面談を行い、必要な助言や支援につなげるように心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5 未記入1		父母の会等は設立していませんが、機会があれば、保護者同士で話し合う場を設けたりしていきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		こどもや保護者からの相談等があった場合は体制を整え、面談等で、迅速かつ適切に対応をしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月通信を発行して保護者に活動内容などをお知らせしています ・ホームページで事業所向け自己評価及び保護者の方々の評価を公開しております	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		法人のマニュアルに沿って適切に対応しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、視覚支援等のコミュニケーションツールを使うなど配慮を行っています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。		6	当事業所が主催する行事等はありませんが、同じ建物内の図書館など普段の活動時に利用させていただいたり、支所に来られたついでに見学される方はおられます。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	未記入1	法人のマニュアルに沿って適切に対応しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		総合支所全体の消防避難訓練に参加したり、風水害等の避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用開始する前に必ず確認しています。利用開始後にも変更があった場合には、医師の診断書、対応方法などの確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		利用開始する前に必ず確認しています。利用開始後にも変更があった場合には、医師の診断書、対応方法などの確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。安全管理を十分した中で支援を行うように心がけています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1 未記入1	安全計画により必要な訓練の実施などを書面等で伝えるようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4	2	ヒヤリハット事例は、事業所内ではあまりありませんが、起きた時には共有し、対策について事業所内で共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に法人内の施設と連携して研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	未記入2	法人のマニュアルに沿って適切に対応しています。		